



Washington Japanese Language School

(祝) 60 周年 ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2018 年 6 月 2 日発行 第 9 号

ワシントン日本語学校

校長 佐藤 良明

[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411

指導技術を磨く

校内授業研究会

教職は、日々変化する子どもの教育に携わり、一人ひとりの子どもがもつ可能性を開く創造的な仕事です。そのため、指導にあたる教員には常に研究と修養に努め、専門性の向上を図ることが求められます。

先週、校内授業研究会を実施しました。他の先生の授業を参観し放課後の研修会で、先生方が授業について語り合い、よいところをお互いに学び合ったり、授業改善の方策を検討したりする場です。児童生徒にとって、分かる・できるなど、意欲的に取り組める授業づくりを研究します。

補習校という限られた時間の中で、教師自らが、自己の指導を振り返り、教育の専門家としての多様な知識・技能を追求し、子どもを理解する力や集団を指導する力、そして学級づくりができる力などを研究授業者から学び取るというものです。

また、仕事に対する誇りや児童生徒に対する愛情をもち続け、さらにそれらを統合する基礎的な力として、常識や教養をはじめ豊かな人間性や社会性を育むことを再確認する機会にもしています。

校内授業研究会



小1F 田中先生(国語)



小4B 大國先生(国語)



小6A 本橋先生(算数)



中3B 加藤先生(数学)

参観部学年	授業者	学級(教科)	単元
幼・小1~2	田中美紀子先生	1F(国語)	おばさんとおばあさん
小3~4	大國 寛恵先生	4B(国語)	動いて、考えて、また動く
小5~6	本橋真紀夫先生	6A(算数)	分数の割り算
中・高	加藤 順子先生	3B(数学)	平方根

音読講習会



5月26日、管理運営委員会教育人事部主催による「第1回音読講習会」が、小学部1年生の保護者を対象に開催されました。今回は、家庭での効果的な音読や学習法について、講師として、保護者であり大学や自宅で日本語指導をされている加島未来様、ペイカー浩子様にご指導いただきました。

家庭学習は、日本語学校での授業を補う上で重要となります。特に低学年の時は、保護者の方の支援が不可欠で、学習習慣や意欲付けに大きく影響します。また、直接指導することで、子どものがんばりに対する具体的な励ましの声かけができ、学習意欲の向上につながります。



タイム測定(50M走)

60周年記念運動会の新しい種目に「小学部1年生から4年生までの紅白対抗リレー」を取り入れます。

そこで、4年生は、昼休みに50m走の記録会をおこないました。昨年度、小学部5年生以上の紅白対抗リレーが復活し、大変盛り上がりしました。本年度は、小学部低・中学年のリレーも楽しみの一つになりそうです。

子ども達は、選手をめざし一生懸命に走りました。

(欠席した子も記録会のチャンスがあります。)



小学4年生のタイム測定の様子

卒業生・元在校生に会おう

日本の学校での経験と進路選択

開校60周年記念イベントとして、2016年度卒業生6名をパネリストとして迎え、日本語学校と現地校を両立させるための苦労や努力、そして、日本語学校で学び続け卒業した達成感と喜びを、生徒個々の体験を通して語っていただきました。

高等部や中学部の生徒、保護者も大勢参加し、会場は熱気に包まれました。

日本語学校で学ぶ在校生は、卒業生から日本語を学ぶ大切さだけでなく、共に助け合いながら学び続けた仲間、自分を叱咤激励して応援してくれた保護者など周りの人々の助けや協力があったことに共感を覚えながら、気持ちを新たにしました。



今日は「学力テスト」

本日、小学部2年生から中学部3年生を対象にした「学力テスト」を国語・算数(数学)の2教科で実施します。テストは、前学年の学習内容です。

テストの目的は、5月8日付けでお知らせしたとおり、児童生徒の国語環境の多様化に伴う学習状況を把握すると共に、授業改善に役立て、また、子ども自身が基礎学力を把握し、自己学習への取り組みに役立ててもらうものです。



中学1年生の授業の様子から